弥栄町みらい便り　スペシャル号　VOL.1

島根県立大学生　×　弥栄のみらい創造会議
協働による地域発信プロジェクト

島根県立大学生とタッグを組んで、弥栄のみらい創造会議の活動や頑張っている方の取組みが皆さんに届くように発信していこう！そして興味関心を持ってもらおう！と思い、このプロジェクトを始動させました。！

第１弾は、弥栄のみらい創造会議のなごみ部会の日原副部会長に島根県立大学の学生さんがインタビューをしました。

県大生
　普段どのような活動をされていますか？
日原さん
　なごみ部会では、認知症サポーター養成研修やフォトコンテストなどを行っています。認知症サポーター養成研修は、各集落の代表の方に認知症について正しく知ってもらうことを目的として行っています。また、フォトコンテストは、写真を通して弥栄をPRできればと思い行っています。

なごみ部会

地域の環境及び景観の保全、青少年の健全育成、健康福祉の向上、生活基盤の確保に関すること。

ありがとう

県大生
　活動する中でやりがいを感じるのはどのようなときですか？
日原さん
　地域の方との交流を通して様々なお話を聞けたときや、地域の方から「ありがとう」と感謝をされたときにやりがいを感じます。

県大生
　弥栄地区の課題は何だと思いますか？
日原さん
　地域住民のみなさんに、高齢化が進む弥栄地区独自の問題をいかに自分事として考えてもらえるかが課題だと思います。高齢化が進む中で、車を運転できなくなった時などのために今何ができるのか、みなさんと一緒に考えていきたいです。

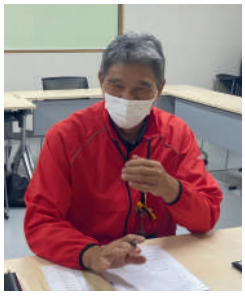
裏面へコゴく

弥栄町みらい便り　スペシャル号　VOL.1

島根県立大学生　×　弥栄のみらい創造会議
協働による地域発信プロジェクト

県大生
　今後どのような地域活動が必要だとお考えですか？
日原さん
　2つ考えられます。1つ目は災害時における支援に関わる活動です。2つ目は地域の方が交流などの中でお互いが気にかけていく緩やかな見守りを行うことが必要だと考えています。弥栄地区では、人と人とのつながりを大切にしていきたいです。

県大生
　活動に対する今後の抱負をお聞かせください。
日原さん
　弥栄地区の10年後、20年後を見据えて、今何をしなければいけないかを意識して活動を続けていきたいです。



県大生
　最後に弥栄地区の方々へのメッセージをお願いします。
日原さん
　生涯弥栄で暮らしていくことを考えて、できることは自分たちでやれるように一緒に頑張りましょう！

― なごみ部会　今年度の活動を少し紹介します ―

秋のウォークラリー
弥栄町の自然環境の実態と先祖が暮らしてきた歴史をウォークラリーをとおして伝える。
今年度は10月7日に開催しました。

フォトコンテスト
みんながフィールドワーカーになって、弥栄町の宝物を写真に撮り、弥栄町のＰＲに活用
今年度の２次募集はもうすぐ！

誰もが一緒！（認知症サポーター養成講座）
子どもから高齢者・性別や障がいを問わず人と人とが繋がりをもち、それぞれの場所で生活できるように。
今年度は11月25日に開催しました。

自然は友だち（秋の自然観察会）
自然で遊びながら、散策しながら活動でみつけた生き物や植物等を記録するなどして、自然の大切さを理解する。
今年度は10月9日に開催しました。

ちょこっとお手伝い
身の回りのお困りごと（ズボンの裾上げやほころび、ボタン付け等）をちょこっとお手伝いします！

弥栄町みらい便り　スペシャル号　VOL.2

島根県立大学生　×　弥栄のみらい創造会議
協働による地域発信プロジェクト

島根県立大学生とタッグを組んで、弥栄のみらい創造会議の活動や頑張っている方の取組みが皆さんに届ようにに発信していこう！そして興味関心を持ってもらおう！と思い、このプロジェクトを始動させました。

2回目となる今回は、弥栄のみらい創造会議の結（ゆい）部会の森下副部会長に島根県立大学の学生さんがインタビューをしました。

県大生
　創造会議では普段どのような活動をされていますか？
森下さん
　年度始めに年間計画の立案や計画を行い、毎月一回行われる会議でその計画を具体化していく活動をしています。

県大生
　弥栄のみらい創造会議の推進委員になろうと思ったきっかけを教えてください。
森下さん
　私が自治会長だったときに声がかかり、地域の一員として何もしないのは無責任だと感じたので推進委員を引き受けようと思いました。

県大生
　役員をやっていてやりがいを感じるのはどのようなときですか？
森下さん
　あいのりタクシーなど、地域の方々の要望した事業が軌道に乗ったときには非常にやりがいを感じます。

県大生
　課題はありますか？
森下さん
　創造会議の活動を維持していくためには、地域の隠れたやる気のある人を見つけ出し、仲間を増やすことが課題であると思います。

結（ゆい）部会

地域の防犯及び防災、地域文化の継承及び創出、地域コミュニティの維持及び形成に関すること。

県大生
　今後どのような地域活動が必要だとお考えですか？
森下さん
　イベント等の活動を通して交流人口を増やすことが重要であると考えています。また地域住民の心の幸せを増やして行くような活動をして行くことも大切だと感じています。

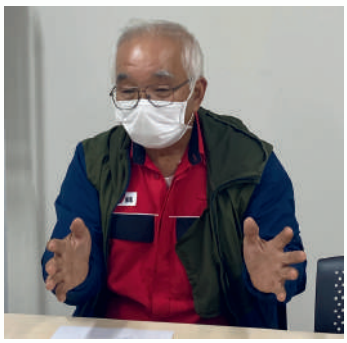
裏面へコブく

弥栄町みらい便り　スペシャル号　VOL.2

島根県立大学生　×　弥栄のみらい創造会議
協働による地域発信プロジェクト

県大生
　今後の抱負を聞かせてください。
森下さん
　どうすれば住民の方に喜んでいただけるか考え、また地域の方に自分のこととして考えてもらえるような活動をしていきたいです。

県大生
　最後に弥栄地区の方々へのメッセージをお願いします。
森下さん
　今後も地域のための活動を続けていきますので、住民の方々には是非関心を持って、地域のことについて一緒に考えていってほしいです。



― 結（ゆい）部会　今年度の活動を少し紹介します ―

クリスマスコンサート
浜高合唱部・弥中音楽部のスペシャルコラボ

音楽をとおして青少年の健全育成と幅広い交流を図るため。
今年度は１２月１７日に開催しました。

友・愛・誕　二十歳の集い

弥栄地域独自の成人式、1/2成人式を実施。
今年度はふるさとまつりが中止だったため、
記念日を送りました。

第２回弥栄町大運動会

スポーツを通じて幅広い世代が交流し、
住民同士の親睦を図り、地域の絆を深める。
今年度は１０月８日に開催しました。

地域交通検討（あいのりタクシー）

高齢者になっても自由に動ける公共
交通体系の実現を目指し、模索中。
現在あいのりタクシーは定期運行中

地域防災力向上

防災に関する研修を行い、地域の安心
安全なまちづくりを推進する。
今年度は１２月３日に開催しました。

モルックの普及

「第２回モルック大会INやさか」
を開催し、町民の交流を図る。
今年度は３月１７日に開催予定です。

初めてのスマホ教室

スマートフォンをうまく使いこなす。
今年度は、１１月にスマホ個別相談会
として開催しました。

子ども支援

地域ぐるみで子どもの豊かな成長を育む。
毎年、漢字検定の補助等をしています。

この夏『君が』『地域が』…変わる

多世代が参加できるイベントをとおして繋がりを作り、安全で安心な住みよい地域を構築する。
今年度は８月２６日に開催しました。

弥栄町みらい便り　スペシャル号　VOL.3

島根県立大学生　×　弥栄のみらい創造会議
協働による地域発信プロジェクト

島根県立大学生とタッグを組んで、弥栄のみらい創造会議の活動や頑張っている方の取組みが皆さんに届ようにに発信していこう！そして興味関心を持ってもらおう！と思い、このプロジェクトを始動させました。

第3回目は、弥栄のみらい創造会議 なりわい部会の竹岡副部会長に島根県立大学の学生さんがインタビューをしました。

なりわい部会

地域資源の活用に関すること。地域の生活に根付いた「ワザ」「モノ」「コト」を活用した産業の活性化に関すること。

県大生
　なりわい部会では普段どのような活動をされていますか？
竹岡さん
　普段は、や市で行うイベントの企画・運営、野菜や加工品の販売。また、地域資源の活用を目的として、竹パウダーを活用するための試験を行っています。

県大生
　なりわい部会の活動を行う中で、やりがいを感じるのはどのようなときですか？
竹岡さん
　や市やイベントが成功したときにやりがいを感じます。イベントの企画は大変ですが、や市が地域の方々のコミュニティの場となり、地域活性化につながればと思い、活動しています。

県大生
　弥栄のみらい創造会議の課題はありますか？
竹岡さん
　課題は新しいメンバーがなかなか入らないことが課題だと思います。会議が夜にあるということもあり、小さなお子さんがいらっしゃるご家庭は参加しづらいのが現状です。子育て世代の方も活動に参加できるようにしたいですね。

県大生
　弥栄のみらい創造会議として今度どのような活動が必要であるとお考えですか？
竹岡さん
　今後は、買い物をする場が減少してきたときに、買い物に関する様々な問題を解消するような活動が必要であると考えています。車を持っている方もそうでない方も、もっと気軽に買い物ができるようにしていきたいです。

裏面へつづく

弥栄町みらい便り　スペシャル号　VOL.3

島根県立大学生　×　弥栄のみらい創造会議
協働による地域発信プロジェクト

県大生
　なりわい部会の副会長として活動に対する今後の抱負をお聞かせください。
竹岡さん
　今後の取り組みとして、小・中・高・大学生が自然と参加できる取り組みをおこなっていきたいです。若い世代の人が地域のイベントに参加することで地域の活性化を促すことができるのではないかと考えています。

県大生
　最後に弥栄地区の方々へのメッセージをお願します。
竹岡さん
　地域の方にはお祭りなどでの集落単位で出店をぜひ積極的に行っていただきたいです。集落単位で参加してもらうことで、コロナの影響で失ってしまった地域の中でのつながりを再度持つきっかけになると思います。

― なりわい部会　今年度の活動を少し紹介します ―

新商品開発事業

加工組織の強化と共に、食品ロスになっている、味には問題ないわけあり果実や野菜を使用し、新商品を開発する。

弥栄の朝市(や市)事業

交流・販売促進の場とし、お客様と生産者との情報交換の場ともする。
毎月第３日曜日９時３０分から弥栄会館で行っています。新鮮な野菜や弥栄町ならではの品物も売っています。また、月替わりでステージイベントも同時開催しています。

弥栄ゆるキャラ「やっピー」のグッズ商品開発事業

弥栄町のゆるキャラ「やっピー」のグッズを商品開発中です。

地域資源の有効活用研修会事業

食物がもつストレスを緩和するための資源を使った野菜栽培の実験をする。

弥栄町みらい便り　スペシャル号　VOL.4

島根県立大学生　×　弥栄のみらい創造会議
協働による地域発信プロジェクト

島根県立大学生とタッグを組んで、弥栄のみらい創造会議の活動や頑張っている方の取組みが皆さんに届くように発信していこう！そして興味関心を持ってもらおう！と思い、このプロジェクトを始動させました。

第４回目は、弥栄のみらい創造会議 グリーンパーク部会の佐藤副部会長に島根県立大学の学生さんがインタビューをしました。

県大生
　弥栄のみらい創造会議の役員になろうと思ったきっかけを教えてください。
佐藤さん
　元々「やさかグリーンパーク部会」で活動をする中で、他の部会の方とも意見交換をする機会がほしいと感じ、役員になることにしました。

県大生
　役員になってから一番大変だったことは何ですか？
佐藤さん
　会議の時に皆さんからでた意見をまとめるのは大変だと感じます。また、全員を会話の輪の中に入れることも大変です。

やさか
グリーン
パーク 部会

おもてなし・地域づくり・学びの拠点とした「ふるさと体験村」の利活用と、地域を応援してもらえる交流人口の拡大に関すること。

県大生
　普段はどのような活動をされていますか？
佐藤さん
　やさかグリーンパーク部会では4月までふるさと体験村の再開に関する作業をしていました。今はふるさと体験村と地域の人をつなげる活動をしています。

県大生
　　最近の活動を具体的にお聞かせください。
佐藤さん
　７月～１０月にふるさと体験村の環境を整えるクリーンデイや弥栄で未来を考えるシンポジウム「や会議」を３回、「働き方と観光」「地域コミュニティとキャリア」「雇用と住宅」をテーマに開催しました。

裏面へつづく

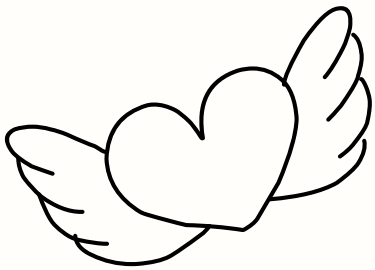
島根県立大学生　×　弥栄のみらい創造会議
協働による地域発信プロジェクト

県大生
　創造会議の課題はありますか？
佐藤さん
　20代、30代の若い人たちを地域活動に巻き込んでいくことが今後の課題であると考えています。

県大生
　創造会議として今後どのような地域活動が必要だとお考えですか？
佐藤さん
　子供たちが弥栄の未来について考えてくれるような機会を作る活動が必要であると考えています。

県大生
　創造会議の役員として委員会活動に対する今後の抱負をお聞かせください
佐藤さん
　様々な課題が山積みですが、夢をもって将来の「弥栄」を語れるようにしていきたいです！

県大生
　最後に弥栄地区の方々へメッセージをお願いします
佐藤さん
　愛しています！！！！！！！



― グリーンパーク部会　今年度の活動を少し紹介します ―

交流拠点としての価値創出、シンポジウムの開催、環境整備などができる体制の構築

ふるさと体験村整備事業